

「あたりまえ」の水道が続く 未来のために



蛇口をひねると、いつでもきれいな水が使える、そんな「あたりまえ」の生活を支える水道。

水道施設は、水道管をはじめ浄水場、ダムなどさまざまなものがあります。水道料金には消費した水の代金という意味だけでなく、水道施設という財産に投資し、将来に引き継ぐという意味があります。どのような水道を自分たちの財産として維持し、引き継いでいきたいか考えてみましょう。

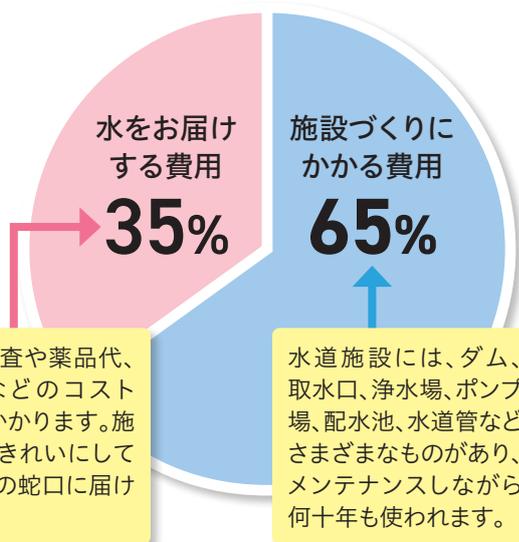
▼水道課 ☎ 23-3532

●水道料金はどんなことに使われている？

水道で水を届けるためには、水を集めてきれいにする施設を造り、水道管を地面に埋める必要があります。そのためには莫大なコストがかかるので、工事は少しずつ順番に行います。



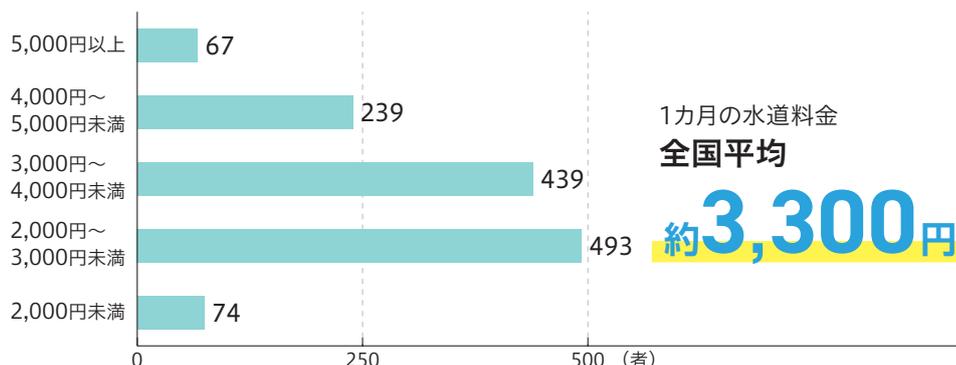
水質の検査や薬品代、電気代などのコストは、毎日かかります。施設で水をきれいにしてから家庭の蛇口に届けられます。



水道施設には、ダム、取水口、浄水場、ポンプ場、配水池、水道管などさまざまなものがあり、メンテナンスしながら何十年も使われます。

●私たちが払っている水道料金はいくら？

1カ月の水道料金 (20,000ℓ使用した場合)



水道料金は、独立採算で運営できるように料金を決めています。

田原市 **2,794円**

全国平均よりも安い！

※水1ℓ当たり約0.14円

口径13mmまたは家事用で月20,000ℓ (20m³) 使用 (1世帯当たりの一般的な水道使用量)
 価格帯別事業者数 総数=1,312 (全国の上水道事業者) (用水供給事業者を除く)
 下水道料金は含まれておりません
 【出典】いま知りたい水道—日本の水道を考える—(厚生労働省 医薬・生活衛生局 水道課)